



香川大学・チェンマイ大学共催

「第 4 回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム2012 ～ Healthy Aging and Sustainable Society ～」

平成24年9月19日(水)から21日(金)の3日間、本学において、本学の海外教育研究拠点校であるタイ・チェンマイ大学と「第4回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム2012～Healthy Aging and Sustainable Society～」(健康な高齢化社会と持続可能な社会)を開催しました。

チェンマイ大学からは35名の教職員・学生が出席し、本学教職員・学生や香川県関係者など合わせて約200名の参加がありました。

シンポジウムでは、人文社会、農学、経済・経営、医学・看護学、工学の分野別セッションに分かれ、両大学の教員・学生による口頭発表、ポスター発表でそれぞれの研究内容の紹介と意見交換を行いました。初日のレセプションには、浜田恵造香川県知事に出席いただき、ご挨拶をいただきました。また、シンポジウム2日目のエクスカージョンにおいては、学術交流に加えて文化的な交流を図るため、香川県綾川町の陶病院、綾川町役場、イオンモール綾川を訪問し、大原昌樹陶病院長、藤井賢綾川町長、井谷光彦イオンモール綾川モールマネージャーよりご講演をいただきました。

さらに、シンポジウム最終日には羽白淳香川県政策部次長をお招きし、香川県における高齢化社会や持続可能な社会づくりに関する施策についてご講演いただき、香川大学の地域における役割、チェンマイ大学の地域貢献等について議論を深めました。



記念撮影



長尾学長とチェンマイ大学学長補佐
Assoc. Prof. Dr.Chirawan Chaisuwan



ディスカッションの様子

シンポジウム閉会式では、今回のシンポジウムを機にさらに両大学の連携を強化し、共同研究の活性化や若手研究者育成、地域との協働を推進していくこととし、最後に2014年に第5回シンポジウムをチェンマイ大学で開催することとし閉会しました。

(国際グループ 古島 愛)



香川大学帰国留学生ネットワークタイ支部の設立総会

平成24年11月10日(土)、香川大学帰国留学生ネットワークタイ支部設立総会をバンコク市内のホテルで開催しました。これは、帰国留学生が相互の親睦・情報交換を図るとともに、本学の国際交流の推進に寄与することを目的として行われました。

総会には、帰国留学生が26名、本学からは、ロン留学生センター長、飯田国際研究支援センター長、早川農学部長、帰国留学生の元指導教員(深井農学部教授、田村農学部教授、川村農学部教授)が出席しました。

総会では、ロン留学生センター長の挨拶、早川農学部長の祝辞の後、役員選出が行われ、Wanchaiカセサート大学教員が会長に選出されました。

引き続き行われた懇親会では、本学教職員との間でお互いの近況報告を行い旧交を温めました。今回は、ショートビジットプログラムでカセサート大学へ派遣されている本学学生が加わり、力強い掛け声特徴的なソーラン節のリズムに乗った躍動感と迫力ある踊りなどで場を盛り上げました。また、帰国留学生でカセサート大学の学生による優雅なタイ舞踊も披露されました。

本学では、1981年以降120名以上のタイ人留学生を受入れており、帰国後はタイ有数の大学で研究者になった人も多く、彼らとの研究交流が盛んに行われています。このタイ支部設立総会をきっかけに、さらなる活発な交流活動が期待されます。

(国際グループ 中塚紗和子)



ロン留学生センター長による挨拶



本学学生によるソーラン節踊り



記念撮影

ブルネイ・ダルサラーム大学とのMOA締結記念フォーラム

平成24年12月13日(木)にブルネイ・ダルサラーム大学との学术交流に関する覚書(MOA)に関する実施細則の調印式を開催しました。

調印式に先立って行われた12月12日(水)の締結記念フォーラムでは、ブルネイ・ダルサラーム大学特別学術顧問のTong Chee Kiong教授、ならびに同大学人文社会科学学部のYabit Alas学部長が同大学の国際戦略や国際交流について講演したほか、本学の研究者がそれぞれの研究内容を発表し、同大学との共同研究の可能性について議論しました。さらに、平成24年の夏に同大学で開かれたSummer Medical Seminarに参加した香川大学医学部の学生5人がセミナーの様子について紹介しました。



特別学術顧問Tong Chee Kiong教授



人文社会科学学Yabit Alas学部長

ブルネイ・ダルサラーム大学は、現国王スルタンにより設立されたブルネイ・ダルサラーム国唯一の大学であり、本学医学部を中心として平成18年より教職員・学生の交流を行っている本学の海外教育研究交流拠点校の1つです。今回の調印を契機にさらなる交流が広がることが期待されます。

(インターナショナルオフィス 細田尚美)

在大阪・神戸アメリカ総領事館 商務部とのアメリカへの留学促進についての会合

平成24年12月20日(木)、ジョン・フレミング氏(在大阪・神戸アメリカ総領事館 首席商務領事)と藤岡哲子氏(在大阪・神戸アメリカ総領事館 商務部 商務アシスタント)をお招きして、同領事館のアメリカ留学促進の取り組みや動向、商務部の活動などについてお伺いしました。

本学からは、板野俊文インターナショナルオフィス長、飯田豊彦副オフィス長、高木由美子教育学部教授(国際交流委員長)、田多良俊樹経済学部准教授(グローバル人材育成プログラム検討専門部会委員)、岩本直樹工学部教授、垂水浩幸工学部副学部長、正楽藍インターナショナルオフィス講師が出席しました。

愛媛大学からは、細川洋治国際連携推進機構副機構長とルース・バージン国際教育支援センター准教授、徳島大学からは、坂田浩国際センター准教授と中谷毅研究国際部国際課長補佐、鳴門教育大学からは、近森憲助副学長(国際交流担当)が出席されました。

フレミング氏と藤岡氏のお話が続いて、四国の大学生の海外留学や各大学の取り組み、そして、アメリカの大学との協定および英語研修などについて活発な意見交換が行われました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)

東南アジア食品産業調査ミッションin ベトナム報告会

平成25年1月15日(火)、香川大学、四国経済産業局、一般財団法人貿易研修センターの共催による「東南アジア食品産業調査ミッションin ベトナム報告会」がサンポートホール高松で開かれました。本調査ミッション報告会は、ベトナムへの海外展開に伴う課題や、食品・食材の輸出入の可能性などを調査目的に、昨年10月、四国の食品産業界と大学・行政が連携して実施した「四国の食品産業のグローバル展開とアジア・メコン諸国との相互発展モデルに関する調査事業」(一般財団法人貿易研修センター事業)の一環として開催されたものです。

報告会の第一部では、田村農学部教授の司会により、早川農学部長と林恒夫四国経済産業局産業部長の開会挨拶、続いてグエン・バン・バー・ベトナム社会主義共和国総領事館領事(経済担当)や岩田知統日本貿易振興機構(ジェトロ)香川貿易センター所長によるベトナム経済に関する講演、山本博章株式会社大和製作所常務取締役、井口雅嗣キング醸造株式会社専務取締役、石川浩百十四銀行常務執行役員によるミッション参加報告、レ・バン・メイ Lotus Food 社長による日本食品産業界との関わりについての講演などが行われました。

また、第二部では、飯田国際研究支援センター長の司会により、片山農学部客員教授、川村教授、田村教授らによる様々な角度からのベトナム食品産業に関する調査報告が行われました。

本報告会には、食品・金融等の企業関係者、国・県等の行政関係者のほか、大学教員、大学生など約120人が参加し、今後の両国地域相互の発展方向を探る貴重な機会となりました。

(インターナショナルオフィス 飯田豊彦・細田尚美)



報告会の様子(写真左手の講演者はレ・バン・メイ Lotus Food 社長)

平成24年度 後期インターナショナルオフィスの活動

学術交流協定締結調印

<国際交流協定締結調印>

- 2012年10月 1日 本学とコロラド州立大学国際交流協定覚書(再締結)
- 2012年10月24日 本学工学部及び大学院工学研究科と北京理工大学生命学院との学術交流協定書、本学工学部及び大学院工学研究科と北京理工大学生命学院との学生交流プログラムに関する実施細則、本学工学部及び大学院工学研究科と北京理工大学生命学院の学術交流協定に関する実施細則
- 2012年10月25日 本学と天津理工大学との学術交流協定書、本学と天津理工大学との学生交流プログラムに関する実施細則、本学工学部及び大学院工学研究科と天津理工大学工科系学院の学術交流協定に関する実施細則
- 2012年11月 8日 本学工学部及び大学院工学研究科とトレド大学との学術交流協定書(再締結)、本学工学部及び大学院工学研究科とトレド大学とのインターンシッププログラムに関する協定(再締結)
- 2012年11月 9日 本学とカリフォルニア州立大学フラトン校との間の学術交流協定書
- 2012年11月19日 本学とパリ電子電気工学技術高等学院との学術交流協定書、本学とパリ電子電気工学技術高等学院との学生交流プログラムに関する実施細則、本学工学部及び大学院工学研究科とパリ電子電気工学技術高等学院とのインターンシッププログラムに関する協定
- 2012年12月13日 本学とブルネイ・ダルサラーム大学との学術交流に関する覚書に関する実施細則
- 2013年 1月31日 本学とガジャマダ大学との学術交流協定書
- 2013年 2月 4日 本学とディポネゴロ大学との学術交流協定書、本学とディポネゴロ大学との学術交流協定書に基づく学生の交流に関する実施細則、本学農学部及び大学院農学研究科とディポネゴロ大学畜産学部及び大学院との学術交流協定に関する実施細則



ブルネイ・ダルサラーム大学との調印式



天津理工大学との調印式



ディポネゴロ大学との調印式

<学生対象行事>

留学生交流支援制度SS&SVプログラムへの日本語教育支援

平成24年8月20日(月)から9月21日(金)まで、農学部はショートステイの学生を受け入れました。この食品科学を専門とするプログラムの中で、留学生センターは、昨年度に引き続き日本語教育の面で協力し、授業を提供しました。昨年度の本プログラムの受講生の中から、現在大学院生として「食の安全」プログラムに所属し、学位取得と就職を目指す留学生が出ており、今後も良い流れの継続が期待されます。

(インターナショナルオフィス
高水 徹)



授業後に全員で



授業風景

東南アジア青年の船

平成24年10月26(金)、内閣府青年国際交流事業「東南アジア青年の船」の訪問団29名が香川大学を訪問しました。ベトナム3名、タイ3名、ミャンマー2名、シンガポール2名、インドネシア3名、ブルネイ2名、カンボジア2名、ラオス4名、マレーシア2名、フィリピン3名、日本3名と、計11カ国からの訪問団です。香川大学では、香川大学の学生たち39名とグループディスカッションを行い、文化の違いや、これからの環境や教育のあり方について話し合いました。

(インターナショナルオフィス 細田尚美)



グループディスカッションの様子



グループ発表の様子

外国人留学生への就職支援

●外国人留学生対象 企業見学会

平成24年8月6日(月)、香川大学が事務局を務める香川県留学生等国際交流連絡協議会の主催により、「外国人留学生対象 企業見学会」を実施しました。本学からの参加者5名を含む、14名の留学生が参加し、株式会社アムロンを訪問しました。会社概要や工場概要について説明の後、工場内部を見学しながら詳しい説明を受けました。見学後は、現場で活躍する外国人社員の講演、採用状況についての講演、質疑応答がありました。

平成25年1月18日(金)にも、連絡協議会の主催による見学会を実施しました。今度の見学先は株式会社藤田商店で、本学からの参加者4名を含む11名の留学生が参加しました。事業概要の説明に続き、バスで移動しながら施設を見学しました。その後、人事・採用説明を受け、全体を通しての質疑応答が行われました。

今後とも地元である香川県の企業との連携において、このような見学会を続けていきます。



アムロンにて



藤田商店の備蓄タンク脇にて

●留学生就職活動準備セミナー

平成24年11月2日(金)、香川県社会福祉総合センター第一中会議室において、留学生就職活動準備セミナーを実施しました。構成は第1部:就活体験談、第2部:日本文化基礎講座、第3部:キャリア支援センターの留学生支援の3部構成で、18名の留学生が参加しました。留学生にとって、就活の実践的知識とその背景の日本文化を習得できる、有意義なセミナーとなりました。



第1部講師の毛さん



第2部講師の加藤教育学部教授

●外国人留学生向け就職フェア参加のためのバスツアー

平成24年12月22日(土)、グローバルリーダー主催の就職フェアに参加するためのバスツアーを実施し、20名の留学生が参加しました。フェアは御堂筋ホール心斎橋で行われ、21社がブースを設けて説明を実施し、留学生たちは熱心に聞き入っていました。

●留学生就職活動支援セミナー

平成25年1月30日(水)、研究交流棟5階研究者交流スペースで「留学生就職活動支援セミナー」を実施し、15名の学生が参加しました。講師には、本学経済学部卒業生で三井物産(株)のOBでもある、荒木洋光氏、射場和行氏をお招きし、海外での就業経験をもとにお話をいただきました。第1部の講演では、海外勤務におけるビジネスのあり方、安全上の留意点、ダイナミックなグローバルビジネスの発展等についてお話いただきました。第2部の情報交換会では、参加学生からの様々な質問に答えていただきました。フレンドリーな雰囲気の中で、より具体的にお話を伺うことができました。

また、平成25年2月18日(月)にも、研究交流棟6階第1講義室にて同セミナーを行いました。講師はアビリティセンター株式会社が担当し、14名の留学生が参加しました。自己分析や面接に関するレクチャーの後、就活におけるコミュニケーションやマナーの実践的トレーニングを行いました。ビデオ映像によるフィードバックと同社社員である先輩留学生の体験談も含まれており、参加者にとって非常に有用でした。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



荒木氏、射場氏との情報交換会



おじぎの指導をする講師の太田氏

平成24年度日本留学フェア(ベトナム)

平成24年11月24日(土)および25日(日)、ベトナムのハノイおよびホーチミンにて、JASSO主催の日本留学フェアが実施され、本学からは高水インターナショナルオフィス講師と市村国際グループグループ員が参加しました。ベトナムから日本への留学生は急増中ですが、本学ブースでの様子からは、まだまだ日本からの情報が質・量ともに不足していることが感じられました。フェアの前後に、日本文化交流センターやハノイ工科大学を訪問できたのみならず、2名の元留学生に会うこともかきました。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



ハノイ会場にて



ホーチミン会場にて

平成24年度香川大学インターナショナルウィーク

平成24年11月26日(月)～11月30日(金)、本学における国際交流活動を盛り上げ、インターナショナルオフィス及び各部局の取り組みを広く周知する機会を設けるためインターナショナルウィークを実施しました。

26日(月)は、ドイツ・エアランゲン在住のジャーナリストである高松平蔵氏をお招きし、「いま、なぜ『外国へ行ってみる』なのか」について講演いただきました。高松氏ご自身の海外生活で印象に残ったエピソードを交え、外国へ行くことの意義についてお話がありました。



高松平蔵氏の講演

28日(水)は、「海外留学フェア」を開催しました。「第1部 帰国学生による報告会」では、ラインマイン大学(ドイツ)、コロラド州立大学(アメリカ)、チェンマイ大学(タイ)、ロバニエミ応用化学大学(フィンランド)、ブリティッシュコロンビア大学及びビクトリア大学(カナダ)、西オーストラリア大学(オーストラリア)、大邱大学(韓国)での留学・研修へ参加した学生らが、留学・研修へ参加した動機や内容、学んだことなどを報告してくれました。「第2部 海外留学プログラムの紹介」では、インターナショナルオフィス・留学生センター教員らによる本学の海外留学プログラムの紹介に続いて、国際教育交換協議会日本代表部の植田寿光恵氏による海外留学のための英語資格試験TOEFLについてご説明いただきました。また、第1部と第2部の間には、帰国学生による国別ブースを設け、参加学生が興味、関心のある留学・研修先に分かれて自由に質問したり、留学・研修の様子を聴いたりする時間を持ちました。同じ興味、関心のある学生同士で情報を交換し合ったり、帰国した先輩からアドバイスを受けたりしていました。

29日(木)は、関西学院大学副学長・前在ドイツ特命全権大使である神余隆博氏をお招きし「激動の国際情勢と日本の大学生に期待すること」について講演いただきました。講演では、東アジアや欧州の情勢、日本の大学生に期待することなどについてお話いただきました。講演会の様子は、インターナショナルオフィスのウェブページでもご覧いただけます。

また、11月1日(木)には、農学部国際交流委員会主催「海外留学についての説明会」が本ウィークの一環として開催されました。学術交流協定校の紹介と留学手続きに加えて、正楽藍インターナショナルオフィス講師による本学の海外留学制度についての説明を行いました。さらに、工学部では、11月3日(土)の工学部第2回オープンキャンパスで、工学部国際交流委員会による国際交流相談コーナーが設置され、工学部の国際交流活動について広く紹介されました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



海外留学フェアの様子



神余隆博氏の講演



農学部での説明会の様子

平成24年度学長主催外国人留学生交歓会

平成24年11月30日(金)香川大学では、外国人留学生、教職員及びチューター等日本人学生や、地域や国際交流団体の方々との親睦を深めるため、学長主催による外国人留学生交歓会をホテルパールガーデンにおいて開催し、約260名が参加しました。

仏生山国際交流協会の方々のご厚意により和装した、留学生の経済学部研究生 Gagauzov Gleb (ガガウゾフ グレブ) さん、経済学研究科1年張絮涵(チョウ ジョカン) さんが司会進行を行い、長尾学長の挨拶に続き、留学生代表の教育学研究科2年王珊(オウ サン) さんの挨拶、板野インターナショナルオフィス長による乾杯の音頭で開始されました。懇談の合間には、連合農学研究科3年 Pham Thanh Van (ファン タン バン) さんによるお礼の言葉、中国からの留学生による歌とダンス、マレーシアからの留学生による民族音楽演奏、タイからの留学生による歌、ダンスなどのパフォーマンスが披露されました。さらに、香川大学異文化交流会(ICES)の司会により、板野インターナショナルオフィス長と留学生によるじゃんけん大会が行われ、上位者にはプレゼントも贈呈され、大いに盛り上がりました。

最後に民族衣装を身にまとったロン留学生センター長による挨拶で交歓会を締めくくりました。これを機に本学の留学生達が、さらなる交流の輪を広げ、日本での留学生生活を充実したものにしてくれることを願います。



長尾学長と留学生



板野オフィス長とのじゃんけん大会

第18回日本語語学研修プログラムの実施

平成25年1月21日(月)から2月1日(金)まで、台湾4名、韓国4名、計8名の研修生を迎えて実施しました。今回は初めて、協定大学の一つである漢陽大学(韓国)から参加がありました。うどん打ち体験をしたり、香川漆器ワークショップに参加して蒔絵の体験をしたりと、いつも以上に香川に焦点を当てた、中身の濃い研修になりました。

(インターナショナルオフィス 塩井実香)



蒔絵で作ったお盆を持って



栗林公園での学外実習

平成24年度インターナショナルオフィスFD・SDワークショップ

海外渡航者・教職員向け 危機管理セミナー

平成25年2月21日(木)、「海外渡航者・教職員向け 危機管理セミナー」を開催しました。板野俊文インターナショナルオフィス長の開会挨拶の後、ジェイアイ傷害火災保険株式会社のリスクソリューション担当部長城戸氏による「香川大学海外研修生／留学生のための海外リスクマネジメント」のご説明が行われました。春休み期間中の海外研修へ参加する学生やこの春海外留学などへ出発する学生へ、海外で発生しやすい事件や事故をどのように防ぐのか、また、自然災害発生時の行動などについてご説明いただきました。海外研修や留学を実りあるものとするため、参加学生120名は城戸氏のお話に熱心に耳を傾けていました。

学生対象のセミナーに続いて、教職員対象の「海外危機管理セミナー～大学としての対応～」も行われました。事件発生時の対策本部の設置やご家族への対応、日本政府への支援要請などについてご説明がありました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



城戸氏による講演の様子

帰国予定の外国人留学生及びチューター等意見交換・反省会

平成25年2月22日(金)、地域関係者の方々の参加も得て、今春帰国する留学生の送別・親睦会を行いました。渡日当初は日本語が心許なかった留学生も、立派に日本語で挨拶し交流しながら別れを惜しみ、温かく和やかな雰囲気の中で互いの今後の活躍や親交の継続を約束し合っていました。

(インターナショナルオフィス 塩井実香)



記念写真

平成24年度第2回外国人留学生課外教育行事

平成25年2月25日(月)と26日(火)、本年度2回目となる外国人留学生課外教育行事(日帰り)を実施しました。今回は、瀬戸内国際芸術祭2013「留学生等による島活性化プロジェクト」の一環としての実施となりました。25日(月)は、丸亀市の丸亀城と本島へ行きました。石垣づくりで有名な丸亀城を見学した後、フェリーで本島へ渡り、島の方から塩飽諸島の歴史や特徴を学んだり、城下町であった笹島の街並みなどを見学したりしました。また、丸亀市立本島幼稚園・保育園の園児らとの交流行事も実施しました。交流行事では、本学の児童文化研究会の日本人学生4名から、園児とのリズム遊びなどを教えてもらいました。

26日(火)は、坂出市のライオンケミカル株式会社と三豊市の粟島へ行きました。同社の圧倒的シェアを誇るハンドソープの製造工程を中心に見学した後、須田港から粟島に渡りました。粟島では粟島海洋記念館にて伝言ゲームの要素を含んだブイアート作りを体験しました。その待ち時間には城山に登ったり、ご厚意で島内を案内していただいたりしました。学生が作った9体のブイアートは、地域の方々のご厚意によって、芸術祭終了まで港近くのJA詫間町粟島支所前に配置させていただくことになりました。

参加した留学生からは、「瀬戸内の歴史に興味が出た」、「過疎化について考えさせられた。アートを使った地域活性化が面白い」などの感想が寄せられました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍・高水 徹、国際グループ 中塚紗和子)



本島園児らとの交流活動



粟島にてブイアートと

<地域との交流活動>

瀬戸内国際芸術祭2013 香川大学プロジェクト 「留学生等による島活性化プロジェクト」始動&参加者募集

留学生、日本人学生、インターナショナルオフィスの教職員が、一丸となって「留学生等による島活性化プロジェクト」を行います。

このプロジェクトでは、瀬戸内や島の文化・民俗・歴史・芸術などを事前学習した留学生や日本人学生が、島の子どもたちとの交流、祭りなどの伝統行事やイベントへの参加を通じて発見した島の魅力や感動を、インターネットを通じて発信することなどにより、地域の方々とともに芸術祭を盛り上げます。場所は本島(ほんじま)、粟島(あわしま)及びその周辺です。スタートイベントとして、3月17日(日)塩飽本島マイペースマラソンで、留学生や日本人学生10数名が、受付やコース案内のボランティアを行いました。詳細は、留学生センター facebook に随時掲載しますので、ご覧ください。また、参加者も随時募集していますので、興味のある学生及び教職員のご参加をお待ちしています。

(国際グループ 中塚紗和子)



島の基本情報と心構えについて説明する高水教員



塩飽大工衆の歴史について説明する齊藤氏



粟島海員学校の歴史を説明する中田公民館長

■以下の活動については、インターナショナルオフィスのホームページで詳細をご覧ください。

サボア大学 Laurent Foulloy 教授が理事を表敬訪問

平成24年9月10日(月)、サボア大学 Laurent Foulloy 教授が板野インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

本学とサボア大学は平成12年に学術交流協定を締結後、現在までに学生交流プログラムに関する実施細則、オープンレクチャー試行のための細則を締結、本学工学部及び大学院工学研究科とサボア大学アヌシー高等工学院は学術交流の実施細則、国際インターンシッププログラムに関する協定を締結しています。平成21年には、サボア大学と本学が幹事校となり、国際メカトロニクス研究教育機構(International Organization of Research and Education on Mechatronics : IOREM)に関する一般協定を締結し、現在ではフランスの6大学と、本学を含む日本の6大学が加盟しています。

(国際グループ 古島 愛)



記念撮影

国際研究支援センター研究会シリーズ第3回の開催

平成24年12月4日(火)に平成24年度国際研究支援センター研究会シリーズ第3回を開催しました。



長澤支部長の講義

研究会では、飯田国際研究支援センター長の趣旨説明の後、JICA四国支部長 長澤一秀様から「国際協力の現状と新たな動き - JICAと大学の連携強化に向けて-」と題し、JICAの国際協力事業の現状や今後の事業戦略について説明がありました。講演後のディスカッションでは、JICAのインターンシップ事業等を活用したグローバル人材育成への連携、学生の海外派遣や途上国支援事業を活用したプロジェクト連携の可能性などについて活発な意見交換が行われました。

(国際グループ 古島 愛)

平成24年度10月期新入外国人留学生ガイダンス

平成24年10月6日(土)、インターナショナルオフィス・留学生センター主催「平成24年度10月期新入外国人留学生ガイダンス」を開催しました。

この秋、本学へ入学した外国人留学生に対して、住所届や銀行口座開設の他、自転車事故や就労(アルバイト)等に関する法令、防犯対策等、日本で生活する上での注意事項や様々な手続等に関する生活ガイダンスと高松北警察署による法令遵守ガイダンスを実施しました。

ガイダンス終了後は、新入留学生を囲みでの情報交換会を開催し、留学生同士や日本人学生、地域の方々との交流を深めました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



ガイダンスの様子

留学生の声



ホー・ステファニー
大学院農学研究科1年
(食の安全特別コース)

私の名前はホー・ステファニーです。中国系アメリカ人で、香港で育ちましたが、アメリカで12年間も生活しました。日本に来てからすでに五ヶ月が経ち、様々な国の人たちと出会ったり、カルチャーショックを体験したりしています。

最初に香川に来た時、研究室の先生がアパートを探してくださり、日本人のチューターさんが銀行や医療保険などのお世話してくれました。みんなのおかげで異国での初めての一人暮らしを開始できました。留学生同士でパーティーする時、ブラジル、ベトナム、タイなどいろいろな国の伝統料理を体験することができてとても楽しいです。また日本人の友だちの実家で正月を過ごし、忘れ難い経験もできました。日本の友だちが銭湯に連れていってくれた時、初めは赤の他人の前で裸になるのは恥ずかしいと思いました。でも、銭湯に行ってみると気持ち良すぎて他の人を気にしなくなりました。これから、まだ私の知らない異文化の良さをもっと発見していきたいです。

インターナショナルオフィスからのお知らせ

- 「香川大学生のための海外留学・研修ハンドブック 2013-2014」を作成しました。在学中に参加できる海外留学（交換留学、海外研修など）や学術交流協定校の紹介、留学に関する Q&A などを掲載しています。インターナショナルオフィスのウェブページからもダウンロードできますのでぜひご覧ください。
- 平成 25 年度から、全学共通科目「Study Abroad (Global English at UC/UWA)」を開講します。日本（香川大学）での講義（前期・火 4・2 単位）に続いて、カルガリー大学（カナダ）と西オーストラリア大学での英語研修へ参加します。詳しくは、「平成 25 年度全学共通科目シラバスⅡ」で確認、または、インターナショナルオフィス（正楽研究室）までお問い合わせください。
- 平成 25 年度から、本学留学生会館へ入居できなかった外国人留学生のための民間宿舎の借上げを開始します。借上げ宿舎への入居を希望する留学生は、学務係、または、国際グループ（幸町キャンパス 研究交流棟 4 階）までお問い合わせください。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第8号 2013(平成25年).3.31

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <http://www.facebook.com/KUISC>